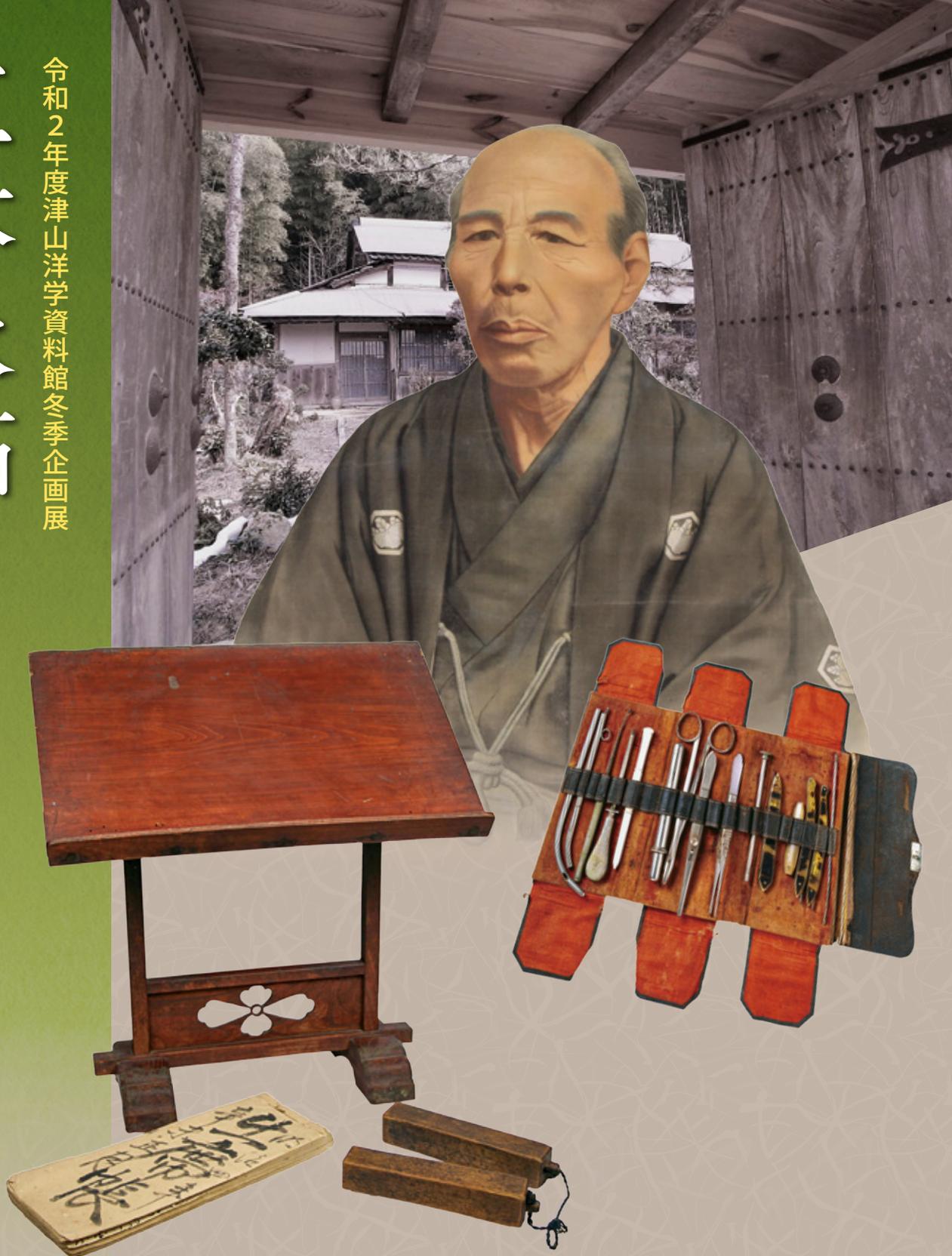


令和2年度津山洋学資料館冬季企画展

仁木永祐と 靱山鬘をめぐる人々



令和2年

令和3年

会 期：11月28日(土)～2月21日(日)

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休 館 日：月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、
年末年始(12/28～1/4)

会 場：津山洋学資料館 企画展示室

〒708-0833 岡山県津山市西新町5番地

TEL 0868-23-3324 FAX 0868-23-9864



津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

※ 新型コロナウイルスへの対応について

- マスクの着用や咳エチケットの遵守、入館時の手指の消毒と体温計測にご協力をお願いします。
 - 展示室内では、密にならないよう間隔をあけてご覧ください。状況によっては入場制限等をする場合もあります。
 - 感染拡大防止のため、会期を変更する場合があります。ご来館前にホームページ等でご確認ください。
- 感染拡大を防ぎ、安心してご観覧いただけるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

仁木永祐と 初山巒をめぐる人々

津山市街の北方、初保の丘陵に、高さ4メートル程もある、大きな石碑があります。

この石碑は、江戸時代後期から明治時代にかけて、この地で医療や教育、政治に尽力した医師 仁木永祐を顕彰するため、門人や地域の人々によって建立されたものです。

永祐は1830(文政13)年に下津川村(現在の津山市加茂町下津川)の中庄屋豊田伊兵衛の四男に生まれました。江戸や大坂へ遊学して洋学と漢学を学び、初山村(現在の津山市初保)の医師仁木隆助の養子となって地域医療に尽力。明治時代には自由民権運動にも参加して「美作の板垣退助」と呼ばれました。

永祐の業績のひとつに、郷校初山巒の創設があります。1860(万延元年、隆助らと共に藩の許しを得て開いた初山巒には近郷から多くの門人が集まり、主に漢学や医学の教育が行われました。明治時代になり、学校制度が整備されていく中で初山巒は閉校されますが、その歴史の中で井手毛三(衆議院議員)、中島大次郎(苦田郡医師会会長)、米井源治郎(麒麟麦酒創業者の一人)ら、明治の世を担う人々を育てました。

本展では、永祐の生誕190年を記念し、永祐の生涯と初山巒をめぐる人々についてご紹介します。



葵紋入手提げ鞆 幕末～明治時代初期



注射器 明治時代



上皿天秤・組分銅 明治時代～大正時代



研究場学則(初山巒の教育課程) 1869(明治2)年11月



仁木永祐顕彰碑

※資料は全て仁木家所蔵

- 開館時間 / 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始
(会期中の休館日: 11/30、12/7・14・21・28 ~ 31、R.3.1/1 ~ 4・12・13・18・25、2/1・8・12・15)
※感染拡大防止のため、会期を変更する場合があります。
ご来館前に下記ホームページなどでご確認ください。
- 入館料 / 一般300円、65歳以上・高校・大学生200円
(常設展示と共通・30名以上の団体は2割引)



■ 交通のご案内

- ・ JR津山駅から東循環ごんバス南廻り線で12分、西新町下車徒歩2分
- ・ 中国自動車道 津山ICから車で15分・院庄ICから車で20分

津山洋学資料館
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

〒708-0833 岡山県津山市西新町5番地 TEL: 0868-23-3324 FAX: 0868-23-9864
URL: <http://www.tsuyama-yougaku.jp> e-mail: yougaku@city.tsuyama.lg.jp